

■ 指導案(試練 2) 60 分

- 目的: 脅威から大事なデータの全てを守り抜くのは困難であるため、重要なデータを優先して守るような工夫が必要である。サイバー防衛におけるリスクマネジメントの基本となる、「ダメージコントロール」の考え方を理解する。

- 学習目標:
 1. サイバー防衛では、重要なデータを優先して守る工夫が必要であることを可視化して体験する
 2. サイバー防衛では、データを保護する優先度を決めて実行することが重要であることを理解する
 3. 守りきれない部分はあらかじめ有用なデータの保護を優先する「ダメージコントロール」の考え方を、ゲームを通じて体験的に理解する

- 指導上の留意点:
 1. 世界図書館で、試練のルールと背景となる考え方を読ませる
 2. 実際のダメージコントロールに基づくデータ保護の対応を、試練での操作と関連させて理解させる

所要時間	指導者の行動	学習活動	指導上の留意点
導入① 2分	この教材の目的、概要を説明する	この教材について説明を聞く	ビジオメッセージを使用してもよい
導入② 4分	インターネットのサイバー攻撃についての考えや意見を聞く	アニメやマンガで見たことがあるかなど、体験を聞き出す	アイスブレイク
導入③ 4分	この教材の構成や使い方を説明する	・この教材の構成の説明を聞く ・ステータスの使い方を聞く	ビデオマニュアルを視聴させてもよい
展開①-1 5分	ダメージコントロールについて説明する	・世界図書館の「第二の試練の書」を読む ・ステータスに反映されたことを確認する	用語の不明点は適宜解説する
展開①-2 8分	ダメージコントロールの考え方について討論する	なぜダメージコントロールが必要か考える	操作の不明点は適宜サポートする
展開①-3 5分	分かったことまとめて意見を交換する	・ワークシートに記入する ・意見を発表する	挙手させてもよい
展開②-1 25分	第二の試練を体験させる	・世界図書館で第二の試練のルールを確認する ・ワールドを開いて試練にチャレンジする	・用語の不明点は適宜解説を追加する ・ビデオマニュアルを視聴させてもよい
展開②-2 5分	第二の試練で分かったことをまとめて発表する	・ワークシートに記入する ・意見や感想を発表する ・ステータスに反映されたことを確認する	
まとめ 2分	ダメージコントロールの考え方や働きについて考えさせる	ダメージコントロールの意味と自分との関わりを考える	ダメージコントロールの考え方を補足する
応用①	第二の試練に必要なマイクラフトの基本操作をチュートリアルで練習する	マイクラフトに不慣れな児童は、チュートリアルで操作を練習する	操作方法や用語の不明点は適宜解説する
応用②	関連する試練の上級者の試練を体験させる	初心者の試練を終えた児童は、上級者の試練にチャレンジする	用語や行動の不明点は適宜解説する

対応する解説教材の場所:

情報セキュリティについて(上から3つの画面の左下の赤いボタン) > 脅威と脆弱性

http://dcajr.jp/isekai/3_1_2.html